



※本リリースは株式会社協和エクシオと株式会社WHEREが共同で配信します。重複して配信されることがありますが、ご了承ください。

2017年9月8日（金）

屋内測位・センサーネットワークに関する国内初の先進事例を BluetoothSIGプレスイベントで発表 ～ IoTの基本ユニットとなる新技術「Bluetooth Mesh」の先進事例 ～

株式会社協和エクシオ
株式会社 WHERE

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）の子会社で当社グループが推進する『ジオソリューション^{*1}』における中核会社の株式会社 WHERE（本社：東京都千代田区、代表取締役：丸田一）は、9月8日（金）に開催された Bluetooth SIG プレスイベントにおいて、同社が国内で唯一先進事例を有する、Bluetooth の新しい規格である Bluetooth Mesh（ブルートゥース・メッシュ）に関する商品の事例発表を行いました。

Bluetooth Meshとは、メッシュ型のトポロジーをもつネットワークのことで、2017年7月に Bluetooth SIGにより公表されたBluetoothの最新規格です。その名が示す通りこの規格にはメッシュ型のネットワークが採用されています。メッシュ型のネットワークはハブ装置が不要で、経路に障害があっても回り込んで送信するなど、構築・管理費用が格段に安く、耐障害性を持つという優れた特徴があります。

株式会社WHEREは、Bluetooth Meshの原型といえるCSR Mesh（Qualcomm社）を採用したメッシュ型ビーコン^{*2}端末「EXBeacon(エクスビーコン)」を独自開発し、人やモノの位置を測定する屋内測位インフラとして、あるいは多様なセンサー情報を集約するセンサーネットワークとして実用化を進めてきました。

利用シーンは、工場・倉庫、オフィスをはじめ、鉄道、トンネル、介護施設、商業施設など多岐にわたっています。今後、メッシュ型ネットワークはIoTネットワークの基本ユニットとして広く位置付けられていくことが想定されます。

今回のイベントでは、メッシュ型ネットワークの先進事例として株式会社WHEREが手掛ける「EXBeacon(エクスビーコン)」を活用した複数の先進事例を紹介するとともに、IoT時代の通信規格のあり方について発表しました。

協和エクシオグループでは、情報通信インフラの構築をはじめとするエンジニアリングソリューション事業に加え、通信キャリアインフラ工事で培ってきた電波空間設計・施工技術を融合させた、メッシュ型ビーコンネットワークソリューションを含む『ジオソリューション』を、新ソリューションの柱の一つとし、今後、事業を展開してまいります。

なお、協和エクシオとWHEREは共同で、11月8日から開催される『第3回IoT/M2M展』（会期：2017年11月8日（水）～10日（金）、会場：幕張メッセ）において、メッシュ型ビーコンネットワークソリューションを展示いたします。

※1：ジオソリューション…屋内外の空間測位と地図情報を組み合わせて創出されるビジネス

※2：メッシュ型ビーコン…ビーコン端末（小電力の識別信号発信機）に送受信機能を持たせて、遠隔地にビーコンの状態やセンサー情報を転送することを可能とするビーコン

【Bluetooth SIGについて】

Bluetooth SIG (Bluetooth Special Interest Group) は、Bluetoothの規格を定める標準化団体。2017年7月13日、Bluetooth SIG は、Bluetoothの新規格である「Bluetooth Mesh」（BLEによるメッシュネットワーク）の仕様を公開しました。

【株式会社WHEREについて】

2013年設立のIoT企業。株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）の100%子会社。メッシュ型ビーコン『EXBeaconプラットフォーム』や、観光や防災向けのガイドアプリ『EXTravel』などのソリューションを提供。



写真は、事例発表を行うWHERE代表取締役：丸田一



写真は、イベント会場内の展示ブースの様子

●本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ 総務部 CSR・広報室 担当：望月 政広

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷3 - 29 - 20

電話：03 - 5778 - 1075 (直) FAX：03 - 5778 - 1228

●本資料に関する製品・サービスのお問い合わせ先

株式会社 WHERE 管理部 担当：青木 貴弘

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番29号 紀尾井町アークビル4階

電話：03 - 6261 - 5722 (代) FAX：03 - 6261 - 5725